

2024年3月25日

報道関係者各位



日本初「G 認証」が開始 ゴルフ場やスキー場の生物多様性の保全に貢献する認証制度 「筑波東急ゴルフクラブ」が第一号を取得

3/28(木)9時より「認証書授与式」を開催

公益財団法人日本生態系協会(本部:東京都豊島区)は、日本の生物多様性を保全する上で、極めて重要な課題となっている「草地」の環境を守り再生するため、ゴルフ場やスキー場を対象とした認証制度「G 認証」(二次的自然環境保全型ハビタット認証)を2024年3月に創設しました。

認証制度立ち上げに当たっては、三井住友信託銀行(本社:東京都千代田区)の協力を得ながら、学識者らとともに検討を進め、約2年の準備期間を経て今回の第一号認証が実現しました。

「G 認証」という名称は、Grassland(草地)、Golf course(ゴルフ場)、Gelände(ゲレンデ)の頭文字から命名しました。この100年間で90%以上が失われた草地環境をはじめ、雑木林、水田、ため池などを含む里地里山の環境(二次的な自然環境)は現在、急速に失われています。広大な草地を保有するゴルフ場やスキー場は、その管理内容やゾーニング次第では、在来の野草や動物の生息環境の再生を経て、生物多様性を守る新たなフィールドとなり得ます。当協会は、このG 認証を通じて、生物多様性の保全に寄与する新時代のゴルフ場、スキー場が全国で普及していくことを目指しています。

認証の第一号は、東急不動産株式会社(本社:東京都渋谷区)と東急リゾート&ステイ株式会社(東京都渋谷区)が運営する「筑波東急ゴルフクラブ」(茨城県つくば市)が取得しました。

その認証式を、3月28日(木)午前9時より当協会事務所にて執り行いますので、ぜひ取材にお越しいただき、貴媒体にてご紹介いただけますようお願いいたします。

■G 認証の概要

- ・ 目的: ゴルフ場、スキー場の開発の歴史について開示しつつ、現状も踏まえた環境改善の促進につながる要件を設定することで、生物多様性保全上の意義を説明可能な、これからの時代のゴルフ場、スキー場の普及に寄与すること。
- ・ 評価対象: ゴルフ場、スキー場
- ・ 申請者: ゴルフ場やスキー場の所有者または運営者
- ・ 評価・認証者: (公財)日本生態系協会
- ・ 認証の有効期間: 5年間



Habitat Evaluation for G

G 認証



図.申請区域. 国土地理院撮影の空中写真(2021年撮影)を元に作成



生物多様性保全型の管理区域として設定する場所の例(調整池)

【認証団体】

団体名: 公益財団法人日本生態系協会

英名: Ecosystem Conservation Society-Japan

設立: 1992年2月3日

主務官庁: 内閣府

代表者: 会長 池谷奉文

所在地: 本部 東京都豊島区西池袋 2-30-20 音羽ビル

団体概要: 生物多様性を守り未来へとつないでいくために、市民、企業、行政等とともに、持続可能な社会を築くための取り組みを行う環境保護団体

他の認証制度: ^{ジェイヘップ}JHEP(ハビタット評価認証制度) 2008年～

<https://www.ecosys.or.jp/certification/jhep/index.html>

筑波東急ゴルフクラブ G認証 認証書授与式

- 日時: 2024年3月28日(木)9:00～10:15頃
- 場所: (公財)日本生態系協会 会議室(東京都豊島区西池袋 2-30-20 音羽ビル)
- 内容: 認証書の授与

筑波東急ゴルフクラブの評価結果についての説明

東急不動産(株)による生物多様性の取り組みの紹介

質疑応答 などを予定

※ 取材をご希望の方は、3月27日(水)15:00までに電話かメールでお申し込みください。

<お問合せ・取材のお申込>

(公財)日本生態系協会 加藤・中安

東京都豊島区西池袋 2-30-20 音羽ビル

Tel 03-5951-0244

ウェブサイト <https://www.ecosys.or.jp/>

Eメール head_office@ecosys.or.jp